

まちネット緑 2022年5月定例会議事録

日時・場所:2022年5月4日(水)15:00~16:45 みどリーむ大会議室

出席者:池田、黒沢、佐々木、篠崎、田中、中島、長嶋、樋口、吉開、片山(オブザーバー)

欠席者:岡部、早川、満井、森、鷺山

配布資料:①2022年5月定例会議題 ②R4年度みどリーむ防災・減災講座チラシ

閲覧資料(Web):③防災かるた(みどり国際交流ラウンジ作成) ④Lアラートの紹介

1. 連絡・報告事項

* R4年度みどリーむ防災・減災講座 資料-②

- ・講座のテーマ:災害発生直後の安否確認と防災活動~互近助で助け合うヒント~
- ・チラシに対するコメントがあれば樋口まで

* 防災かるた完成(データは添付参照) 資料-③

- ・データは「みどり国際交流ラウンジ」のHPからダウンロードできる。
HPを開く→ラウンジより→「ダウンロードはこちらから」の絵札・読み札をクリック
- ・防災出前防災講座(ラウンジ&みどリーむ)を聞いた外国人の目線で作成
- ・反響あり(itscomや新聞社等マスコミの取材、1週間緑区役所に展示された)
→区役所の展示場所は目につきにくい。入口に案内(サンプル展示)を出す等PRの工夫があった方がよい。
- ・片山さんも長年防災活動をされていて、かるたも作ってきている。比較して内容のチェックをしてもらったらどうか。
- ・かるたを作った人達(小野原さんや、日本語クラスの生徒、作成スタッフ等)の話を聞いてみたい。

2. 防災ささえ愛カードにある個人情報の取り扱い

- * 三井杉田台団地(片山さん所属の自治会)では、住民の95%が個人情報(住所・氏名・連絡先・年齢・家族構成・血液型等)の提出に応じてくれる。毎年アップデート(変更が無くても再提出)するので、いざという時役に立つ。
- * 緑区では取り扱い方はまちまち
白山・台村・三保;自治会の金庫に保管(三保では講習会を受けた人だけが閲覧できる)
小山町;防災上必要な個人情報(どこに住んでいて、どんな状態か)は、自治会・家防災・消防団に開示してよい。
・「防災ささえ愛カード」は“提出したら必ず守ってくれる(支えてもらえる)”という誤解を招きそうだと意見がある。「災害時安否確認カード」に名称変更したら?

3. L(ローカル)アラートの紹介 資料-④

- * 総務省の取り組み。地方公共団体等が発出し、避難指示等の災害関連情報をはじめとする公共情報を、放送局等さまざまなメディアに一斉に送信する仕組み(Jアラートとは違う)
- * 仕組みは出来たが、それを横浜等各自治体でどのように運用するかが肝心

→ 今月「わいわい定例会」に来てくれた高橋まさはる市議に訊いてみたらどうか。

* Jアラートは国民保護法に基づいて発信されるが、いざという時役に立つか疑問。
時代(現状)に適應できていない。

→ スイスではシェルターの充足率は 100%(住宅の建設とセットになっている)。ミサイル
攻撃にも対応。日本では 0.02%

4. 恩田川遊水地(小山町)の現状

* 工事に伴う移転対象家屋は篠崎宅を含め二軒(篠崎宅は来年 3 月に移転。もう一軒はその
後)。着工は来年以降で工期は約 10 年

* 遊水地の詳細仕様(グラウンド、管理棟 etc.)を確認中

* 霧が丘の遊水地(テニスコートあり)のようになる予定

5. 「横浜市地震防災市民憲章」の唱和

6. 「広報よこはま」5 月号から

<4 面> 2022 年 10 月から、敬老パス(敬老特別乗車証)が IC カードに変わる

* スイカと 2 枚持つことになり、混乱するのではないか。

* カードを見せないの、若い人(70 歳未満)が悪用することも出来る。

<6 面> こんな時は緑区役所へ(担当部署と階を記載)

* 相談事によってあちこちの窓口にいかなければならない。

→ One Stop で手続きが出来るようにして欲しい。

→ 電子化も中々進まない。

<8 面> ハチの巣は早期発見・早期駆除を

7~10 月にかけて、活動が活発になる。

7. その他

だるま D サロンの打合せ(新年度テーマについて)を、5 月 21 日 10 時から行う(みどり一む小
会議室)

次回の定例会:

6 月 1 日(水) 16:00~18:00 みどり一む大会議室

以上